

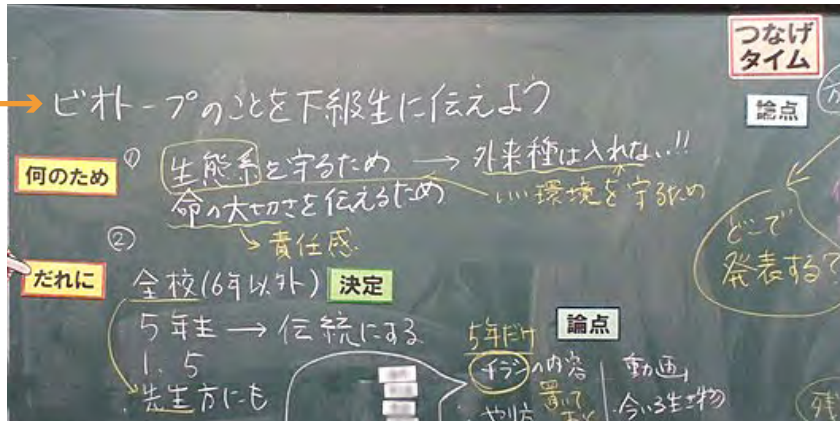
2021年度 地球をすくう子どもたち

生きものが生きられるビオトープをつくった志村第一小学校 6年生96人のねがい～「下級生に命の大切さを伝えたい」

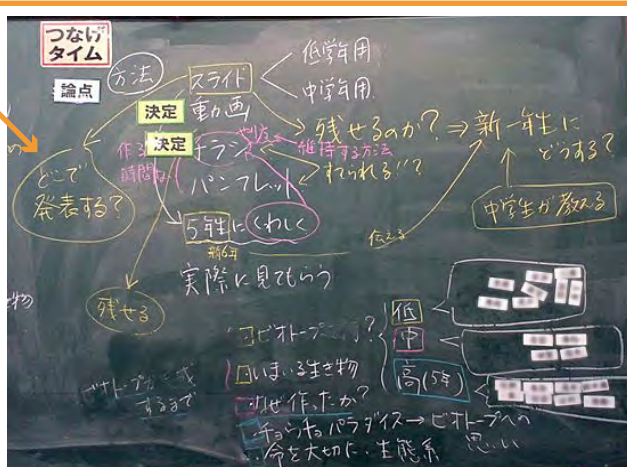
コロナで困難な年に、志村第一小学校の6年生がビオトープを作ったのがあって、ぜひ卒業前にお話をお聞きしたいと、センスオブアースが取材をさせていただきました。



〈つなぐ学び〉
ビオトープの作り方や生きもの大切さを5年生へ伝える



●ビオトープのことを下級生に伝えよう▶6年総合の授業
子どもたちの意見「生態系を守るため、命の大切さを伝える。」



●ビオトープを下級生に伝える方法を考える
(6年総合の授業子どもたちの意見)



校内の支援で底までこんなにきれいになった
コンクリート池

SOE NEWS

No.182

2022年

4月



センスオブアース
市民による自然共生
パンゲア

平成27年度地球温暖化防止活動
環境大臣表彰受賞団体

取り組みの経過～ 2021年コロナ禍の1学期、6年生の願いを聞いた湯本正雄校長先生から、センスオブアースに相談の電話が入りました。

「ビオトープを作りたいと子どもたちが言っています。コンクリート池をどうしたら改善できますか?」ご熱心な先生方の質問でした。

(次ページへ)

校庭のヘドロ化したコンクリート池を、ずっと見てきた子どもたちが5年生の時、「この池を生きものや魚が泳げる池にしたい」と担任に伝え、それを先生方が本気で受け止めたことから、ことが始まりました。SDGs の授業の時でした。(この願いを実現できる応援をしようと湯本校長先生が調べたところ、この池は、かつて、「チョウとなかよしパラダイス」として、地域の方とともにチョウを呼び込むために整備された場所。その思いを尊重してきた学校でした。校長先生は地域の方々が参加する、iCS (板橋コミュニティスクール) の方々に相談を持ち掛け、改善する了承をえて、子どもたちの取り組みが始まったそうです。)

きれいになったコンクリート池へ水入れ



作業していると心ひとつになっていく

6年担任の遠藤・難波・渡辺各先生は、子どもたちの願いを実現するため、総合的な学習として、話し合う場を作り、子どもたちがアクションの計画を立てました。砂利、水草、水、土、鉢などを入れる活動に6年生が取り組みました。



砂を底に入れ、鉢に栄養のある土を入れ水草を植えて、自分たちで作ったビオトープを大切に観察する6年生

魚が大好きな子どもたちが中心となり、生きものを大切に思い、この取り組みの先頭に立って活動し、生き生きと学校生活を送っているそうです。池のヘドロを掻き出し (大人)、子どもたちが土や水草、鉢を入れ魚がすめる池を作り上げました。卒業までに自分たちでの手で何かをなすとげたという達成感は、とても大きいと先生方は言われます。下学年に、

何のために何を伝えるかの話し合いでは「命の大切さを伝えるため」と、子どもたちが、発表しました。

6年生の素晴らしい考え方に私たち SOE は心が洗われる思いがしました。6年生と先生を核にして、職員のご支援で、ビオトープが地域の自然を守り、その中で人や生きもののいのちを学ぶ場所になっていくことを確信しました。

ビオトープの大切さを話す6年生、真剣に聞く5年生！！



1年間の自分の成長を見つめた大学生たち

2021年度 第10回 SOE ワークショップ開催◎3月21日

道端に咲いている野草をさがそう



いいにおいの葉っぱやキノコがありました

抱えられないほど大きな木を見つけました

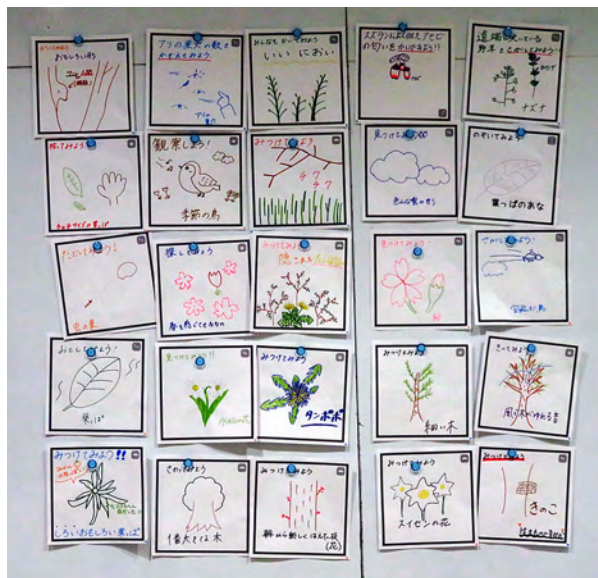
毎月1回、第四日曜日にエコポリスセンターに集まり、環境学習の体験と環境学習プログラムの教材づくりなどの活動を続けてきた東京家政大学の宮地ゼミ3年生たち。

2021年度の最後に、次年度中心となる2年生と合同で、環境学習を体験、開発も行いました。「初めまして」の自己紹介の後、春の自然観察と児童の観察用の「ビンゴカード」づくりです。センスオブアースでは、学生たちの体験と同時に、学生のアイデアを取り入れた教材づくりを行っています。



この日は、近くの前野公園で、自然観察を行いながら、子どもたちが観察するきっかけとなるカードづくりをします。例えば、いい匂い・大きな木・面白い葉っぱ・空の雲・チクチクなど、キーワードに合うものを探し、室内に戻って、言葉に絵を添えて25マスの「ビンゴカードをつくり上げました(下写真)。続いて、1年間の活動の中で、自分の変容を見つめた振り返りを行い、グループで交流した内容です。**学生の思い…**★こんなにも自分たちの手で学びを深めることができたことに驚きが隠せない。★地域の方とも話

す機会が多く地域活動に興味を持ったといっても過言ではない。★学生生活の中で SOE の活動があったからこそ、新しい世界を知ることができ、1年間とても楽しかったな。★プラスチックについて真剣に向き合い、水筒に切り替えたり、180度意識が変わった。★出張授業や教育事業の企画運営など、この経験は私の中でたからものになり貴重なものである。今まで以上に環境問題を自分事ととらえられるようになった。★自然が人々に与える影響は無限大だということを学んだ。落ち葉やどんぐりが子どもにとって、遊び道具になることにおどろいた。★他では絶対経験できないことをやらせてもらった。★深くプラスチック問題について考えるようになった。



卒園遠足 こぶし保育園(板橋区)◎5歳児12人◎3月18日

エコポリスセンター館内見学・菜の花をアイマスクつけてかいてみた
風となかよしプログラム～エコポリスセンターとセンスオブアース合同プログラム



屋上ビオトープ、真剣に観察、生きものを見つけよう!!
カルガモが子育てした場所



SOEの自然観察～アイマスクしたら、何がわかったかな?
甘い香り、やさしくてやわらかい手触り、聞こえてくる音!!
鼻・手・耳が活躍をはじめました



屋外ガーデン畑
～おいもを育てたりしたいね

あいにくの 雨模様のため、遠足は、エコポリスセンターの館内見学の後、センスオブアースのプログラムは室内で。菜の花のアイマスク観察と風となかよしで、工作と遊びを行いました。子どもたちはいろいろなものを見たり、嗅いだり、作ったり、遊んだり卒園前に保育園

のともだちと、たくさんの楽しい経験をしました。◎エコポリスセンター楽しかった! ◎作って遊ぶのが楽しかった。

担任 川合先生より「工作が好きなクラスなので、2つの製作ができてとても喜んでいました。前回のお日様となかよしと風となかよしを体験できて、就学へ向けてすばらしい体験になりました。」



うれしいね、もうすぐ学校!
こんなに大きくなったんだ
(音楽を奏でるふしぎな木の塔の前で)

室内でもカミトンボとんだよ



学校の1年生並みに
かざぐるまを器用に作り上げました



発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp